

全国非開削普及協議会

Vol.17

PRESS



月刊推進技術 10月号
会員動向 (P19) に
掲載されました。

会員動向

第8回定期総会を開催

雨水集水ます浸透化工法(EGSM工法・ER工法)下水道展で大反響
無機系土壤改良工法GEOビースターをラインナップに

全国非開削協議会

全国非開削普及協議会（賛助会員、
会長：岡本州雄様）小池建材代表取締
役社長は8月26日第8回定時総会
および懇親会をメルパルク東京（東
京・芝公園）で開催した。

総会で岡本会長はあいさつで東日本大震災にふれ「1口でも早く復旧・復興を祈る。当協議会で何らかの力になりたい」と前置きし「非開削工事普及部会と雨水集水ます浸透化工法の普及拡大を目指すECMS工法研究会が合同で普及活動を実施し、EGSM工法（ER工法含む）の施工実績が415箇所になった。はじめて出展した下水道展でも多くの来場者が当ブースに立ち寄り、同工法への関心の高さが伺われた。環境保全技術普及部会では、無機質土壤改良工法であるGEOビースターという商品をあたらに導入し普及拡大に努め、震災の復興にも役立てていきたい」と力強く語った。

総会では、非開削工事普及と環境



▲「GEOビースターで震災の復興に貢献したい」と語る岡本会長



▲「推進工法 次なる進展の舞台は」と題し講演する石川専務理事

保全技術普及の普及拡大のほかに、雨水集水ます浸透化工法 EGSM 工法・ER 工法の全国普及を柱にした、平成23年度事業計画と予算案が審議され可決承認された。

また、新商品である無機系土壤改良工法GEOピースターについて、開発会社である(株)田口技術研究所の齋藤明彦新分野開発プロジェクトリーダーから、静岡県内の林道路面補修工事の実績や大阪府における農業用小路の泥土処理など事例をまじえ説明があった。施工実績は、日本国内に留まらず、中国、韓国など近隣諸

国をはじめ、インドやベトナムなどのアジア圏からブラジルやコロンビアなど南米まで全世界に500件以上に達している。NETIS（国土交通省新技術登録）にも既に登録されており、震災の復興事業にも貢献したいと語った。

総会後の講演会では「推進工法
次なる進展の舞台は」と題し、当協
会の石川和秀専務理事が、地下パイ
プライン再構築、都市地下空間創出、
海外事業進出などのテーマに分けて
講演を行った。



月刊下水道 11月号
NEWS のページ (P68) に
掲載されました。

全国非開削普及協議会
第8回定時総会を開催
PR活動で手応え



岡本会長

推進工法など
非開削技術の普及を図っている
全国非開削普及協議会は8月26日、東京・港区のメルバルク東京において第8回定時総会を開催した。

岡本州雄会長は総会冒頭に挨拶に立ち、「2007年の新潟県中越地震では非開削工法で布設した管渠での浮上被害はほとんどなかった。東日本大震災の復旧・復興や今後発生が予測されている大震災への備えが急がれている今、(非開削工法の普及を図ってきた)我々の叡智と活動がまさに求められている」と会員に向けて活動強化を訴えた。

同協議会では2010年度、全国21県65市町村に
対して普及活動を実施し、前年度対比169%となる
96件の資料請求を受けた。また「雨水集水ます
浸透化工法」(EGSM工法、ER工法)については、
試験採用を含め全国415カ所で施工している。

2011年度は協議会がテーマとする「環境にやさしい掘らない技術」を正面に掲げ、東日本大震災の復旧・復興にあたっていくとともに全国各地でPR活動を展開していく方針だ。

総会ではこのほか、建設汚泥や重金属等含有汚泥の再利用を可能とする工法や土壌汚染処理の過程で発生する排水の処理を行うなどしてさした部会活動についても併せて報告された。また総会後には、(公社)日本推進技術協会の石川和秀専務理事による講演会が催された。

ホームページより
当協会の活動内容が
ご覧になります。

全国非開削普及協議会では、会員の皆様との情報により円滑にする為、ホームページ上にトピックスコーナーを作成し、タイムリーな情報の共有化を推進してまいります。

全国非開削普及協議会

tel. 042-696-5200
QRコードこちら→

本会 | 総要 | JUSM二法 | 活動内容 | 会員情報 | お問合せ

全国非開削普及協議会
EGSM method
低温被覆社会の実現

the future of japan

全国非開削普及協議会とは

今、私たちが抱えている都市生産は、下水道をはじめとした多くの地下埋設インフラに大きな影響を及ぼしています。一方で、地下空間を活用する方法を確立するためには、多くの場合、既存の地下構造物を改修することとなり、工事に伴う抜けや漏れ、損傷のリスクが高まっています。そこで、これまで以上に日常生活や都市活動に大きな影響を及ぼす可能性があると指摘される技術が、生産性・効率・安全性・環境負荷などを考慮した上で、非開削技術による社会貢献の強調と普及を目指して進められています。

協議会概要

- 協議会年報
- 協議会年次報告書(電子)
- 定期会員登録料(税込)
- 協議会誌(月刊)

EGSM工法

- 簡易地盤
- 液体充填土採用のお願い
- 雨水系小水素水流化工法(PDF)

動画

-

最新記事一覧

お問い合わせ

お問い合わせフォーム

Tel 042-696-5200
Fax 042-696-5237

2000年〇〇月〇〇日
2000年〇〇月〇〇日
2000年〇〇月〇〇日
2000年〇〇月〇〇日
2000年〇〇月〇〇日
2000年〇〇月〇〇日

サイ・チリュウ、アルル、ブノ、東京、
○○○○(FMS)、羽田
○○○○(横長井戸)
○○○○(埋設構造員会)
○○○○(新規開拓員会)
○○○○(工事実況・映像)

全国非開削普及協議会

QRコードこちら→